シグナスX用　ＦＩコン２　取扱説明書

商品番号 ：０５－０４－００１３
適応車種 ：ＹＡＭＡＨＡ
シグナスＸ（１ＹＰモデル）／ 国内正規販売車両（ＳＥ４４Ｊ）

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特　徴～

○非常にコンパクトなボディながら、弊社製エンジンパーツに合わせてセッティング済みの３次元補正マップを各種内蔵しており、エンジン仕様に合わせたセッティングをＦＩコン２本体のロータリースイッチだけで設定可能です。設定変更の際にパソコンなどは一切必要ありません。
○内蔵の補正マップを全体的に濃い目・薄い目に本体のロータリースイッチで微調整出来る機能も備えております。
○車両取り付け用に専用ハーネスを付属してありますので、最小限の配線加工で取り付けが可能です。
○レブリミット回転数を、約１１０００ｒｐｍまで引き上げる機能も備えております。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
又、シグナスＸ（１ＹＰモデル）であっても、フレームナンバーがＳＥ４４Ｊ以外の車両（並行輸入車等）につきましては現車取り付け確認を行っておりませんので、お問合せ頂きましてもお答え出来かねます。
◎補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

☆ご使用にあたっての注意点☆

◎併用出来ない部品について。
社外品のＨ.Ｉ.Ｄ.キットはバラスト／インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、製品故障や動作不良の原因となりますので、絶対に同時装着しないで下さい。
弊社製以外の点火装置（イグニッションコイルやプラグコード）は点火電圧のアップに伴う、放射ノイズの増大により誤動作や製品故障の原因となりますので使用しないで下さい。
社外品の発電装置は充電力の不足により、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となりますので使用しないで下さい。
◎本製品は防水・防滴構造ではありません。
本製品は防水・防滴構造ではありませんので、雨や水がかかると、本体内に水が浸入し故障する可能性があります。
洗車時も同様にご注意下さい。本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。
又、付属のスイッチ部分が透明のパネルを使用する際、湿度が高い時や急激な温度変化があった場合などに、本体が湿気を吸い込み、パネルの透明部分に曇りが発生する事があります。
◎本製品のボディーは樹脂製です。
劣化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけて下さい。炎天下の中など過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。
◎絶対に分解しないで下さい。
大変危険ですので分解や改造を行わないで下さい。又、お客様で分解された場合、点検や修理をお受けする事が出来なくなりますのでご注意下さい。
◎激しい衝撃を与えないで下さい。
オフロード走行やジャンプなど、本製品に強い衝撃が伝わる事は行わないで下さい。
衝撃により内部部品の脱落や断線による修理不能な故障や、本体ケース破損の恐れがあります。
◎お手入れについて
頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落として下さい。
揮発性のあるもの（シンナー・アルコールなど）やコンパウンドで使用すると、樹脂部分の変質の恐れや、パネルが曇ってしまいますのでご注意下さい。

⚠注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

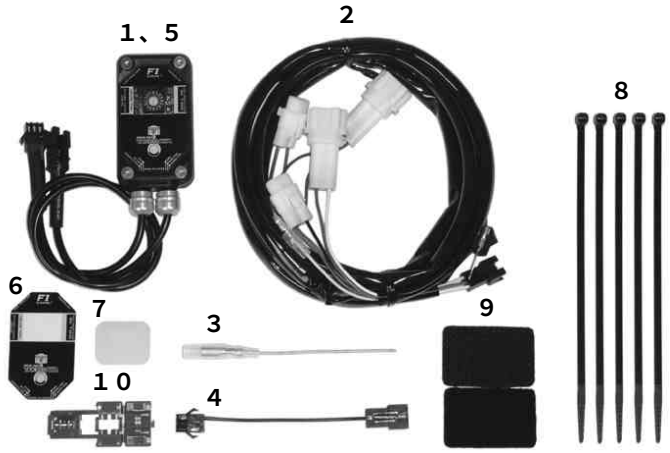
・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

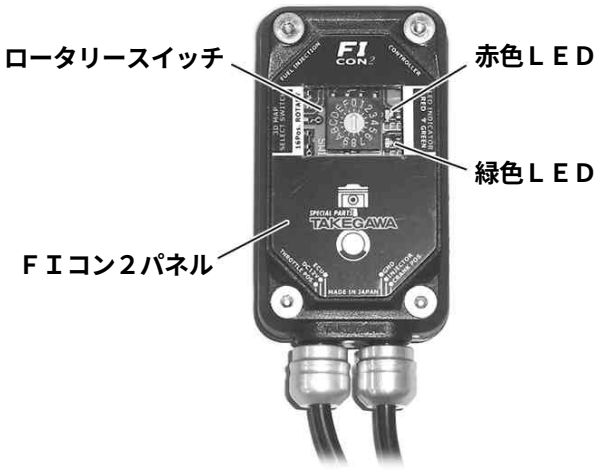
～商　品　内　容～



番号	部　品　名	数量	リペア品番	入数
1	ＦＩコン２　ＡＳＳＹ.	1	――――――	
2	ハーネス　ＣＯＭＰ.	1	３２２００－１ＹＰ－Ｔ００	1
3	サブコード（黄色コード）	1	３２２３２－ＫＹＪ－Ｔ００	1
4	レストアハーネス　ＣＯＭＰ.	1	３８７７２－ＦＣ３－Ｔ００	1
5	ＦＩコン２　パネル（スイッチ部　穴開き）	1※	３８７７５－ＦＣ３－Ｔ００	1
6	ＦＩコン２　パネル（スイッチ部　透明）	1		
7	ラバーキャップ	1	００－０５－００４５	1
8	タイラップ　１５０mm	5	００－００－０１３５	１０
9	マジックテープセット	1	００－００－０１５０	1
１０	エレクトロタップ	1	００－０５－００１５	5

※５．ＦＩコン２　パネル（スイッチ部　穴開き）は、１．ＦＩコン２　ＡＳＳＹ.に出荷時貼り付け済みです。
リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～各　部　名　称～



～取　り　付　け　要　領～

●はじめに

本製品は、純正のフュ―エルインジェクションシステムが問題なく作動している事を前提として開発されています。
フュ―エルインジェクションシステム自体にトラブルや不調がある場合は、本製品を取り付けても正しく作動しなかったり、性能が発揮出来ないばかりでなく、本製品をはじめ他の箇所が故障する原因にもなりかねませんので、必ずフュ―エルインジェクションシステムにトラブルが無い事をご確認頂いた上で、取り付け・使用して下さい。

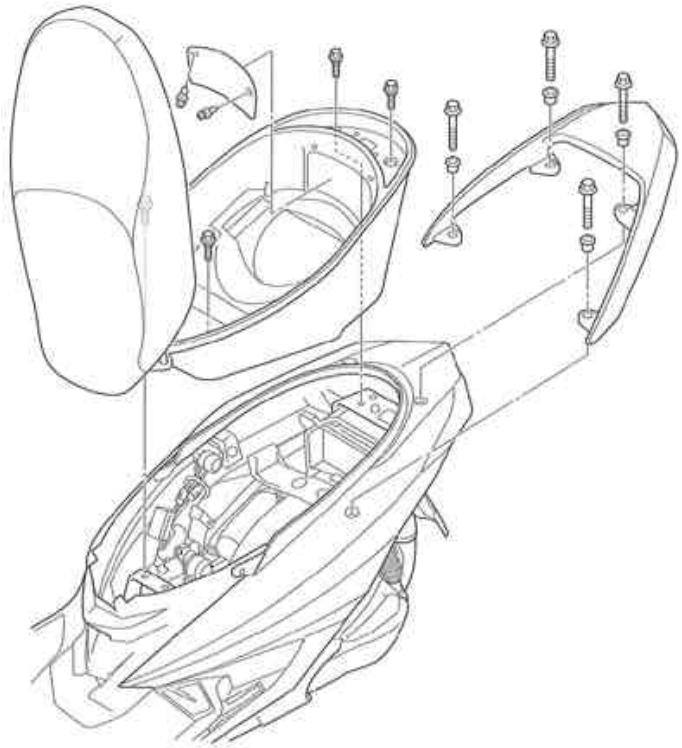
又、作業は水平で安全な場所でセンタースタンドを立てるなどして、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。

●外装部品などの取り外し

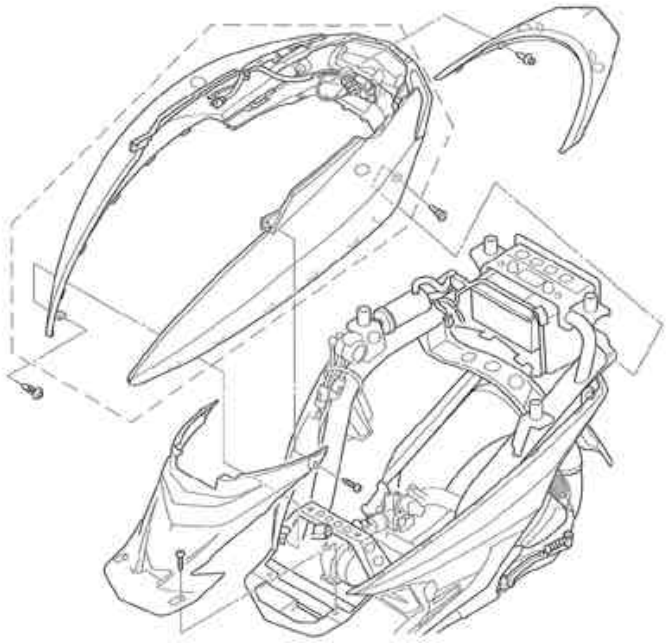
１.純正サービスマニュアルを参照し、外装類を取り外します。

⚠注意：本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。
スクーターの外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順に従い作業を行って下さい。
またカバー類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

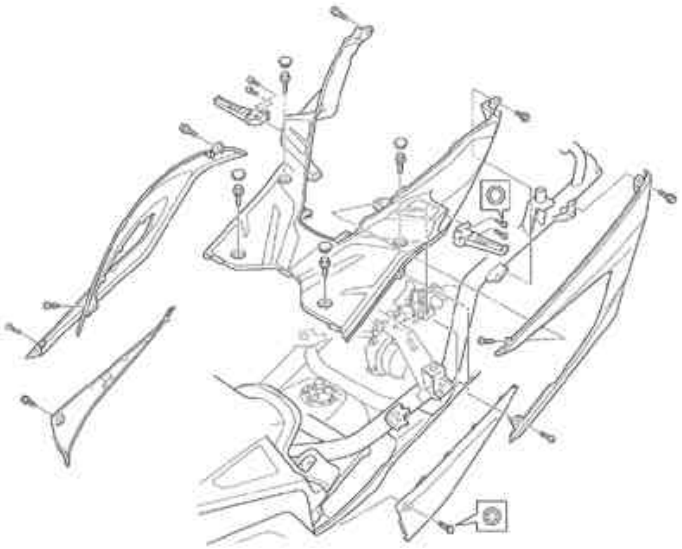
・トランクとスタンディングハンドルを取り外します。



・サイドカバーＡＳＳＹ.を取り外します。

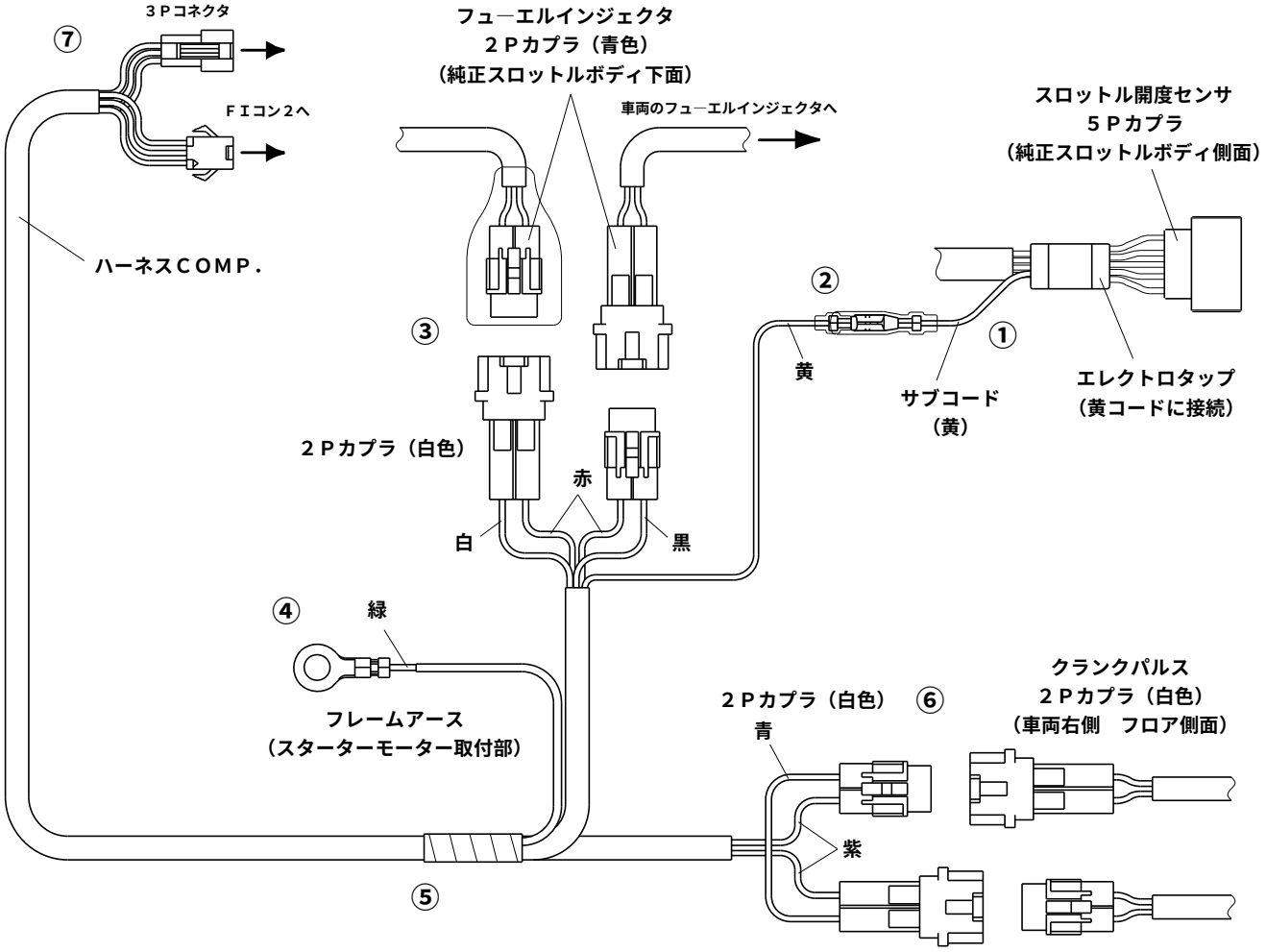


・フットレストボードを取り外します。



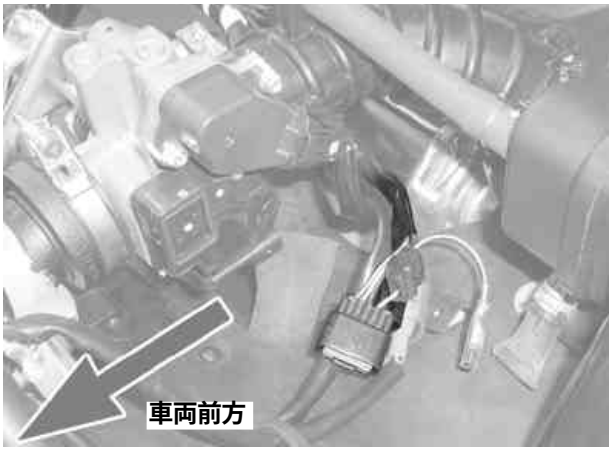
２.バッテリーマイナス端子の接続を外しておきます。

●ＦＩコン２の配線接続



図中番号の順に、注釈を確認しながら作業を行って下さい。

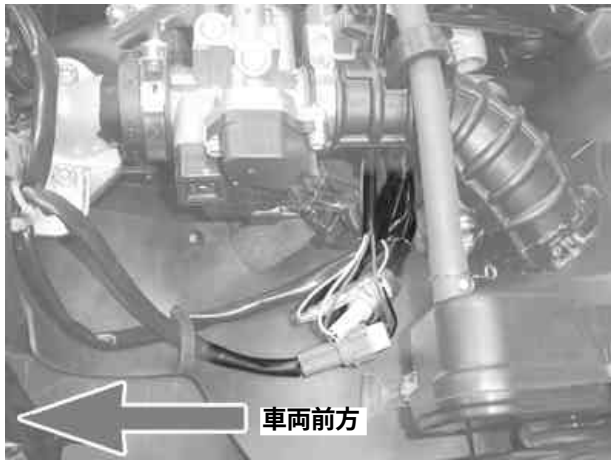
①純正スロットルボディ側面の５Ｐカプラの接続を外し、５Ｐカプラの黄コードに、キット付属のサブコード（黄）をエレクトロタップで接続します。（ビニールチューブを少し切り開く必要があります。）



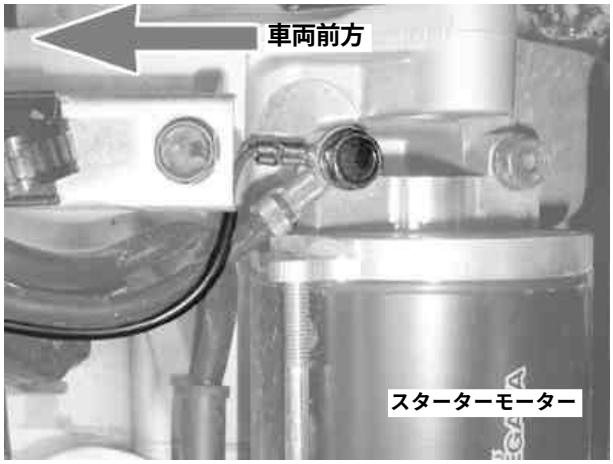
②ハーネスＣＯＭＰ.の黄コード（オスギボシ端子）を、先ほどエレクトロタップで取り付けたサブコード（黄）に接続します。

③スロットルボディ下側に、フューエルインジェクタ２Ｐカプラ（青色）がありますので、ハーネスＣＯＭＰ.の２Ｐカプラ（白・赤・黒のコードが出ている白色カプラ）を割り込ませるように接続します。

⚠ 注意：ハーネスＣＯＭＰ.には白色カプラが２系統あり、必ず白・赤・黒コードが出ている方を接続して下さい。

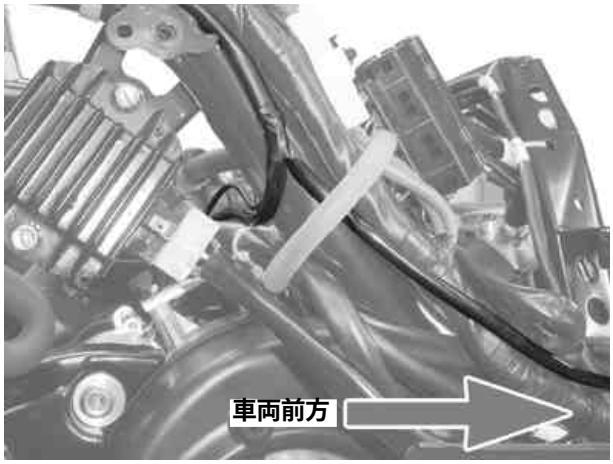


④ハーネスＣＯＭＰ.の緑コード（丸アース端子）を、スターターモーター取り付け部の純正アースコードと共締めします。



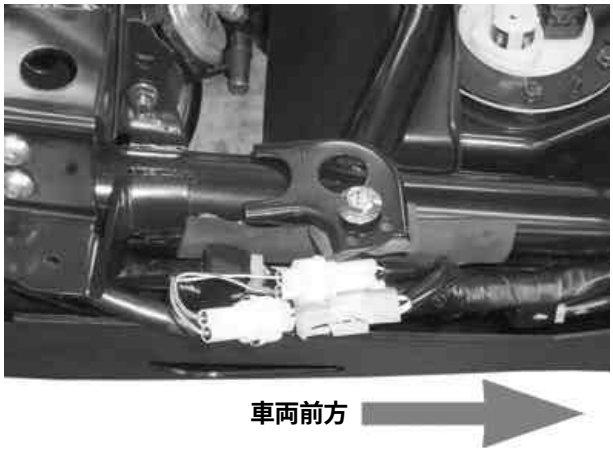
⑤ハーネスＣＯＭＰ.をスロットルボディ下側の純正ハーネスと一緒に這わせ、二股に分かれたもう一方の２Ｐカプラ部分をフレーム右側にあるハーネス止めに通して、車両前方へ向かって這わせます。

⚠注意：走行時エンジンが上下に揺動しますので、ハーネスＣＯＭＰ.に無理な力が掛からないように注意して下さい。



⑥車両右側　フロア側面にあるクランクパルス２Ｐカプラ（白色）に、ハーネスＣＯＭＰ.の２Ｐカプラ（青・紫のコードが出ている白色カプラ）を割り込ませるように接続します。

⚠注意：必ず青・紫コードが出ている方の白色カプラを接続して下さい。



⑦ハーネスＣＯＭＰ.をフレーム右側面　後方に向かって這わせて行き、バッテリー後方よりケーブルが入る穴を利用して、トランクスペース内に３Ｐコネクタを通します。（ラバーブーツを少し切る必要があります）

⑧ハーネスＣＯＭＰ.の３Ｐコネクタに、ＦＩコン２ＡＳＳＹ.本体から出ている３Ｐコネクタをそれぞれ接続します。

接続し終わりましたら配線に間違いが無いか確認し、問題なければバッテリーのマイナス端子を接続します。

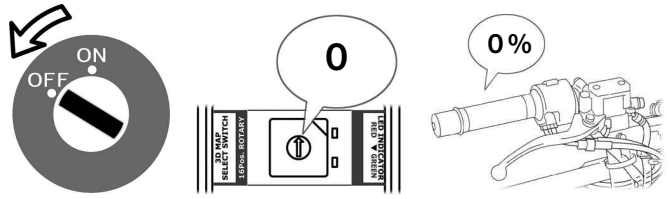
●ＦＩコン２の使用方法･セッティングについて

⚠重要：ＦＩコン２は初期設定が必要です。
初期設定を行わなければエンジンを始動する事は出来ません。
⚠注意：ロータリースイッチは、中心部の矢印が指し示す数字もしくはアルファベットが設定値となります。
１６進数表記となっていますので、“Ａ"は１０“Ｆ"は１５相当となります。

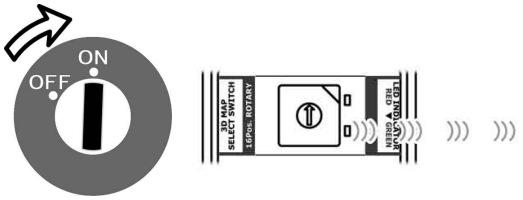
・スロットルポジションセンサー／ＭＡＰ種類選択の初期設定

車両にＦＩコン２を取り付けた初回や、スロットルボディのストッパースクリュー（全閉位置を調整するスクリュー）を調整した場合など、スロットルポジションセンサーの学習が必要になります。
また、エンジン仕様を変更したりして使用するＭＡＰを変更する場合も、下記手順に従って学習作業を行って下さい。

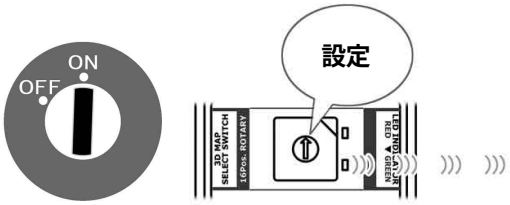
１．キーをＯＦＦにし、ロータリースイッチを“０"に設定します。
スロットルグリップは全閉状態にしておいて下さい。



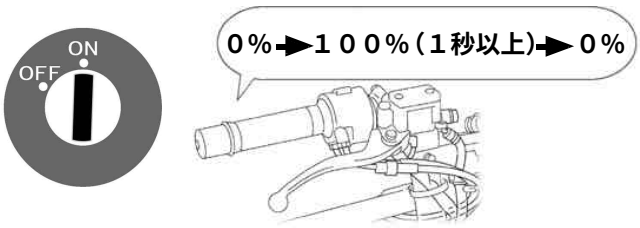
２．キーをＯＮにします。赤と緑のＬＥＤが同時に点灯し、赤ＬＥＤが３回点滅した後、赤・緑ともに消灯します。
その後、緑ＬＥＤが点滅し始めます。



３．この状態のまま、エンジン仕様に合わせた　ＳＷ番号※　にロータリースイッチを設定します。
※本取扱説明書Ｐ.７『エンジン仕様別ＭＡＰ選択表』をご参照下さい。



４．スロットルグリップをゆっくりと全開にし、１秒以上全開のまま保持した後、ゆっくりと全閉に戻します。

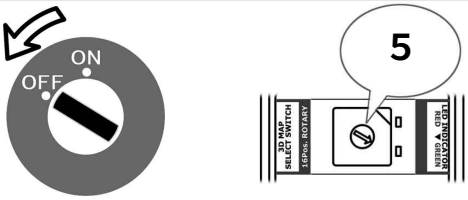


５．全閉に戻すと緑ＬＥＤの点滅が止まり、消灯したままになります。
緑ＬＥＤの点滅が消灯になった段階で、各車両ごとのスロットルポジションセンサー全閉・全開位置の学習と、ＭＡＰ種類の選択が、ＦＩコン２の内部メモリーに正常に学習されました。
（再度、初期設定を行わない限り、キーＯＦＦにしたりバッテリーを外しても、学習内容は消えません。）

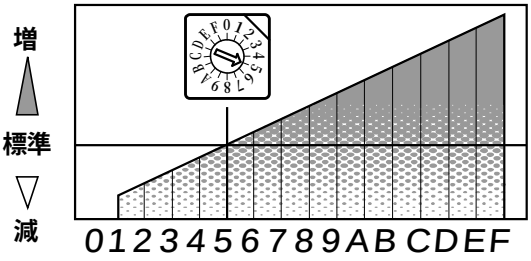
⚠注意：スロットルグリップを全閉に戻した際に、緑ＬＥＤの点滅が止まらず点滅し続ける場合は、全開のまま保持する時間が短かったか、サブコード（黄）の接続不良が考えられます。

６．キーをＯＦＦにし、ロータリースイッチを“５"に設定します。

⚠注意：ＦＩコン２のロータリースイッチは、ＭＡＰ選択・学習後は補正値の増減調整の機能となります。
初期学習後、まずは“５"（標準設定）に設定して下さい。



・ＭＡＰの増減微調整の設定



ＦＩコン２は車両個体差やお好みに合わせて、選択したＭＡＰの補正値をロータリースイッチの設定で増減調整する事が出来ます。
設定はロータリースイッチの“５"を弊社セッティングの標準値とし、４・３・２・１と数値が少ない設定にするほど燃料噴射量をより減量する方向になります。
６・７・８・９・Ａ・Ｂ・・・Ｆと数値が多い設定にするほど燃料噴射量をより増量する方向になります。
ただし、“０"は初期設定専用ですので、０　に設定するとエンジンが停止します。

なお、燃料補正の微調整は全回転域を増減しますので、数値を大きく動かすとアイドリングしなくなったり、特定の回転域で段つきを起こしたりする事も考えられます。
特に必要のない限り、標準設定である“５"設定にてご使用下さい。

また調整は、キーＯＦＦ時・エンジンアイドリング中問わず変更可能です。

⚠警告：走行中は危険ですので変更しないで下さい。
重大な事故の原因となります。

・動作確認

１．ＦＩコン２本体のＬＥＤを目視しながらキーをＯＮにします。
赤と緑のＬＥＤが同時に点灯し、赤ＬＥＤが３回点滅した後、赤・緑ともに消灯します。
２．エンジンを始動し、正常にＦＩコン２が動作していれば、始動後１秒程で緑ＬＥＤが点灯します。
！ポイント：上記の様に動作しない場合は、本取扱説明書末尾の『トラブルシューティング』の欄を参照し、各項目をチェックして下さい。

●外装部品などの復旧

ＦＩコン２の動作確認が終わりましたら、配線類の挟み込みなどに注意し、取り外した外装類を元通り復旧します。

⚠注意：必ずサービスマニュアルで規定された締め付けトルクを遵守する事。

外装復旧する際に、バッテリーカバーを一部切除するなどしてハーネスが通る様に加工し、ＦＩコン２ＡＳＳＹ.をバッテリーカバー前部やトランクスペース側壁面などに、キット付属のマジックテープセットを用いてＦＩコン２ＡＳＳＹ.を設置します。

⚠重要：ＦＩコン２はラバーキャップを装着した状態でも防水構造ではありません。
車両へ装着する際は、ガソリンは勿論の事、雨や水などが直接掛からない様にご注意下さい。

●ラバーキャップとパネルについて

・ＦＩコン２のセッティングを行う際に、ロータリースイッチを回す時のみラバーキャップを取り外して下さい。

⚠ 注意：ラバーキャップ無しで走行すると、埃や水などが浸入しＦＩコン２が故障する原因となります。
走行時は必ずラバーキャップを取り付けるか、後述のパネルを取り付けて走行して下さい。

・セッティングの必要が無くなれば、ＦＩコン２に出荷時に貼り付けてあるスイッチ部分が開いているパネルを剥がし、キット付属のスイッチ部分が透明の物に張り替えて頂く事で、防塵・防滴性能が向上し、無用のトラブルを防ぐ効果があります。

⚠ 注意：パネルを貼り付ける際は、ＦＩコン２上面の８角の凹面内に、正確に貼り付けて下さい。
凹面からずれて淵部分にパネルが乗り上げてしまうと、隙間から埃や水などが浸入し、ＦＩコン２が故障する原因となります。

●エンジン仕様別　ＭＡＰ選択表

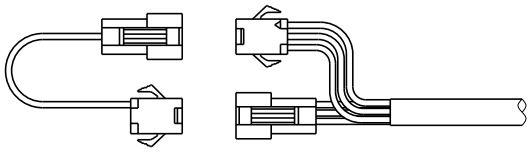
・下記表のセッティングは、全て弊社製パーツを装着した場合となっております。
・エンジン仕様に合わせたＳＷ番号を初期設定時に学習させて下さい。
・あくまで弊社でテストを行ったセッティングですので、車両個体差や外気温や標高、ライダーの体重などの外的要因により、必ずしもベストセッティングではない場合がありますので、予めご了承下さい。
・下表でエンジン仕様が［－］となっているＳＷ番号には、データが入っておりませんので設定しないで下さい。

SW	エンジン仕様
0	初期設定専用
1	ノーマルエンジン　＋　スポーツカムシャフト　＋　ノーマルマフラー
2	ノーマルエンジン　＋　スポーツカムシャフト　＋　スポーツマフラー
3	－
4	ノーマルエンジン　＋　スポーツカムシャフト　＋　ＴＢＲマフラー
5	－
6	Ｓ－Ｓｔａｇｅ　＋　ノーマルカムシャフト　＋　ノーマルマフラー
7	Ｓ－Ｓｔａｇｅ　＋　ノーマルカムシャフト　＋　スポーツマフラー
8	－
9	Ｓ－Ｓｔａｇｅ　＋　スポーツカムシャフト　＋　ノーマルマフラー
A	Ｓ－Ｓｔａｇｅ　＋　スポーツカムシャフト　＋　スポーツマフラー
B	－
C	Ｓ－Ｓｔａｇｅ　＋　スポーツカムシャフト　＋　ＴＢＲマフラー
D	－
E	－
F	－

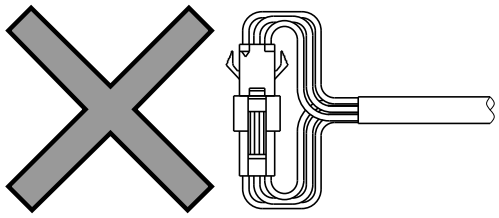
※１：上記セッティングは、全て弊社製純正エレメント形状タイプのエアフィルター（品番：０３－０１－１１０８）を装着してセッティングしてありますが、ノーマルエアフィルターのままでもご使用頂けます。
※２：表中のスポーツマフラーとは、弊社製サイレントスポーツマフラー（品番：０４－０２－００４８）及びパワーサイレントオーバルマフラー（品番：０４－０２－００５４）です。どちらも同じ設定でお使い頂けます。
※３：表中のＴＢＲマフラーとは、弊社製ＴＢＲ（Ｔｗｏ　Ｂｒｏｔｈｅｒｓ　Ｒａｃｉｎｇ）レーシングマフラー（品番：０４－０１－００２０）です。

●レストアハーネスＣＯＭＰ.について

ハーネスＣＯＭＰ.の３Ｐコネクタに、ＦＩコン２を接続する代わりに付属のレストアハーネスＣＯＭＰ.を接続すると、外装類を外さなくても簡単に純正ＥＣＵでの燃料噴射制御に戻す事が出来ます。
ＦＩコン２をご使用になる場合は、常時携行しておいて下さい。



⚠ 注意：ハーネスＣＯＭＰ.の３Ｐコネクタ同士を直接接続しないで下さい。純正ＥＣＵ破損の原因となります。



●トラブルシューティング

キーＯＮにしても、ＬＥＤが点灯も点滅もしない。	・ＦＩコン２本体に電源が来ていないか、アース接続不良が考えられます。 フューエルインジェクタ２Ｐカプラ部分に、ハーネスＣＯＭＰ.の２Ｐカプラ（赤・白・黒コード）が確実に接続されているか、ハーネスＣＯＭＰ.の丸アース端子が、確実に接続されているかを確認して下さい。
キーＯＮにした際、緑と赤のＬＥＤが点灯したままになる。	・スロットルポジション及びＭＡＰ選択の初期設定がされていない状態です。 初期設定を行って下さい。
エンジンが始動しない。	・取り付けた初回の始動時であれば、初期設定後ロータリースイッチが“５"になった状態で始動しているか確認して下さい。
エンジン始動後、緑ＬＥＤが点灯しない。エンジン回転が上がらない。	・正常にクランクパルスを読み込めていない状態です。ハーネスＣＯＭＰ.の２Ｐカプラ（青・紫コード）が、クランクパルス２Ｐカプラに正しく接続されているか確認して下さい。
キーＯＮにした際、赤ＬＥＤだけが点灯したままになる。	・正常にスロットル開度信号を読み込めていない状態です。サブコード（黄）が確実に５Ｐカプラー部の黄色コードに接続されているか、また、ハーネスＣＯＭＰ.の黄色コードと、サブコードが正しく接続されているか確認して下さい。
セッティングが合っていないように感じる	・エンジン仕様に合致したＭＡＰが正しく選択されているか確認して下さい。 ・エンジン運転中はロータリースイッチの設定が、ＭＡＰ番号ではなく、“５"の標準設定になっているか確認して下さい

株式会社 SPECIAL PARTS 弐川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp